

令和元年度授業改善推進プラン【3年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△漢字の学習に苦手意識のある児童が多い。</p> <p>△身近な出来事を文章で正確に表現することが苦手な児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指書きを徹底し小テストを実施することで、漢字の習熟を確実にしていく。 まず文章を書いた後は必ず読み返しを促し、足りないところを補ったり間違いを直したりする指導に取り組む。
社会	<p>△資料から情報を正しく取り出したり、取り出した情報を比較・関連付けたりする力が充分育っていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を提示し、情報を取り出したり、比較・関連付けたりする場面を授業の中に意図的に設ける。 児童に、それぞれの資料を見て「どのような情報が取り出せたか」「何と何がどのように似ているか、どのように違うか」を発表させるとともに、そのように資料から読み取ったポイントを説明させた上で、ICT 機器で拡大提示して確認するなど、資料をもとに考えさせる工夫をする。
算数	<p>△問題把握をする場面で、問題を理解することに時間がかかる児童がいる。</p> <p>△四則計算や図形単元など、得意としている児童と苦手としている児童の差が大きい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 算数学習の基礎となる生活体験、算数体験を意図的に取り入れる。 常に既習事項を使って問題を解決するように声かけをする。 基礎、基本の定着を図るために、学校では朝学習で算数の計算問題に取り組み、家庭では家庭学習を活用して算数の計算問題に取り組を行うように、保護者に協力をお願いする。
理科	<p>△観察カード等を丁寧に書くことができる児童が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どの児童も目的意識や課題意識をもってできるように、どのようなところに意識して観察するのかを明確にする。
音楽	<p>△技能面で、タンギングやフレーズを意識して演奏することが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> タンギングやフレーズ、強弱など基礎的な奏法や音符のきまりを身に付け、技能の習得のために継続的な取り組みで定着を図るようにする。
図工	<p>△絵の具になれていない児童が多い。</p> <p>△材料の特徴を活かして作ることに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 色のよさや筆で描く線の面白さに気づき、いろいろな描き方を試して絵の具の良さを感じる題材を設定し、絵具への興味関心を高める。 紙・木・ひも・プラスチックなど様々な材料に親しみ試す活動を通して、友達と話し合ったり協力したりしながら、表現を深める機会を増やす。
体育	<p>△児童のめあて意識が低く、何を目標せばいいかあまい。</p> <p>△互いにアドバイスをし、みんなで上手になったという経験が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に合わせた学習カードや学習資料を用いて、意欲的に取り組めるようにする。 ルールの工夫や場の工夫を考えたり、友達同士で話し合ったり教え合ったりすることができるよう、チームで協力して活動する場を設定する。